

# サンコール株式会社

(証券コード：5985)

## 会社説明会

### ～ 平成31年3月期 第3四半期決算報告 ～

#### ご注意

本日の説明および配布資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

平成31年2月18日  
代表取締役社長 大谷忠雄

# サンコール株式会社 会社説明会

1. 会社概要
2. 業績推移
3. 平成31年3月期
  - － 第3四半期決算要約
  - － 業績予想
4. トピックス / 開発案件

# サンコール株式会社 会社説明会

1. 会社概要
2. 業績推移
3. 平成31年3月期
  - － 第3四半期決算要約
  - － 業績予想
4. トピックス / 開発案件

# 1. 会社概要 / 沿革

## 【会社概要】

設立 : 1943年6月  
 資本金 : 48億8百万円  
 本社 : 京都市  
 証券取引所 : 東証 1 部(証券コード`5985)  
 従業員数 : 連結2,332名 / 単体593名  
 (2018年第3四半期末時点)



本社：京都・梅津西浦町

## 【 沿革 】

### 1. 創業～1960年代 : 材料/弁ばね事業創業・拡大

1943年 航空機エンジンの弁ばね国産化のため「三興線材工業株式会社」として設立。  
 1952年 自動車メーカー向け弁ばね納入開始。  
 1967年 愛知県豊田市に豊田工場を設立、自動車用弁バネ部門の生産強化。

### 2. 1970年代～1990年代 : 電子情報通信事業への参入 / 海外進出開始

1985年 ハードディスクドライブ用サスペンションの生産開始、電子情報通信事業に参入。  
 1989年 米国に子会社設立。  
 1996年 インクジェット・プリンター用送紙ローラー量産開始。  
 1998年 光通信用コネクタの量産開始。

### 3. 2000年代～現在 : 新製品開発 / 海外展開加速

2000年 タイ子会社設立。以降、ベトナム、中国、メキシコ、韓国、フィリピンへ進出。  
 2004年 装着型運動支援ロボットシステム1号機完成。  
 2014年 過熱水蒸気を用いた連続炭化装置の開発。

# 1. 会社概要 / 国内・海外拠点

## 国内拠点



サンコールエンジニアリング株式会社



豊田工場



サンコール菊池株式会社



広瀬工場

- ◆ 生産拠点 - 5拠点
- ▼ 営業拠点 - 8拠点

## 海外拠点



中国 (広州)



タイ



米国(インディアナ)



ベトナム



メキシコ

- ◆ 生産拠点 - 10拠点
- ▼ 営業拠点 - 5拠点

### 生産拠点

### 営業拠点

### 生産拠点

### 営業拠点

本社	京都
	豊田
	広瀬
子会社	山梨
	熊本

支店	東京
	名古屋
	西日本
営業所	上田
	北関東
	浜松
	近畿
	西日本

アメリカ	インディアナ	子会社
メキシコ	アグアスカリエンテ	子会社
	アグアスカリエンテ	合併会社
中国	広州	子会社
	佛山	合併会社
	天津	子会社
	深圳	子会社
タイ	チョンブリ	子会社
ベトナム	ハノイ	子会社
韓国	梁山	合併会社

アメリカ	サウスカロライナ	子会社
	テキサス	営業所
中国	広州	子会社
フィリピン	香港	子会社
	マニラ	営業所

# 1. 会社概要 / 事業内容

## 自動車分野

### 材料関連製品



弁バネ用線



異形線

### 自動車関連製品

#### エンジン・ミッション



弁バネ



異形リング



バルブコッター



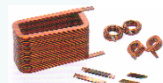
リングギア

#### 安全関連



シートベルト  
ぜんまい

#### 電動化関連



リアクターコイル



モーターコア

## 電子情報通信分野

### HDD部品



HDD用  
サスペンション

### プリンター関連



ローラー



トルクリミッター  
スプ°リングクラッチ

### 通信関連



光アダプタ



光コネクタ



プローブピン

## 新規開発分野

### 自動車電動化



### 環境・エネルギー



### 医療・介護



# 1. 会社概要 / 当社特徴と製品展開

コア技術：精密塑性加工技術

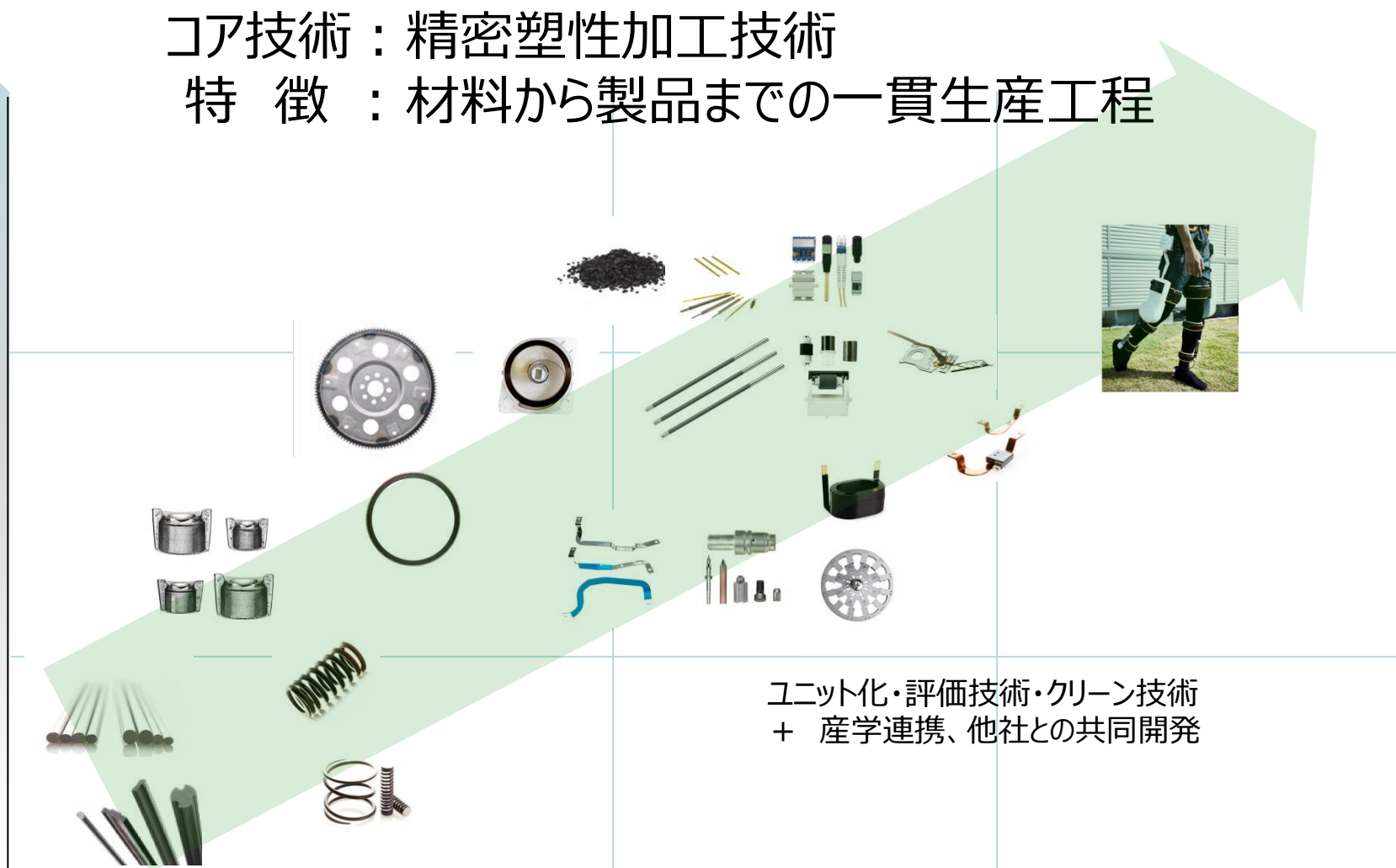
特徴：材料から製品までの一貫生産工程

材料配合・  
ユニット化

技術展開

金属加工

塑性加工



ユニット化・評価技術・クリーン技術  
+ 産学連携、他社との共同開発

メカトロ系部品

電気・微細部品

コンポーネント

製品展開

# サンコール株式会社 会社説明会

1. 会社概要
2. **業績推移**
3. 平成31年3月期
  - － 第3四半期決算要約
  - － 業績予想
4. トピックス / 開発案件



## 2 業績推移

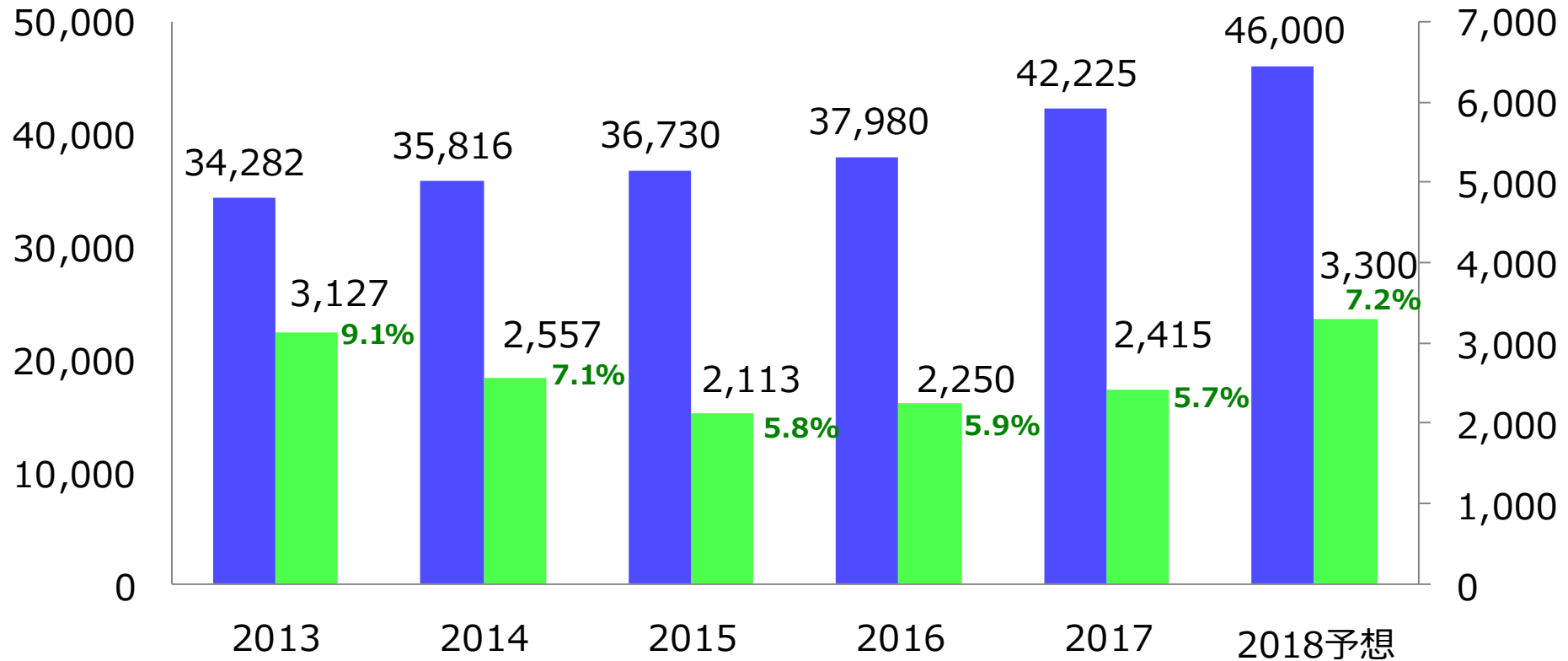
単位：百万円

売上

■ 売上 ■ 営業利益

### 業績推移

営業利益

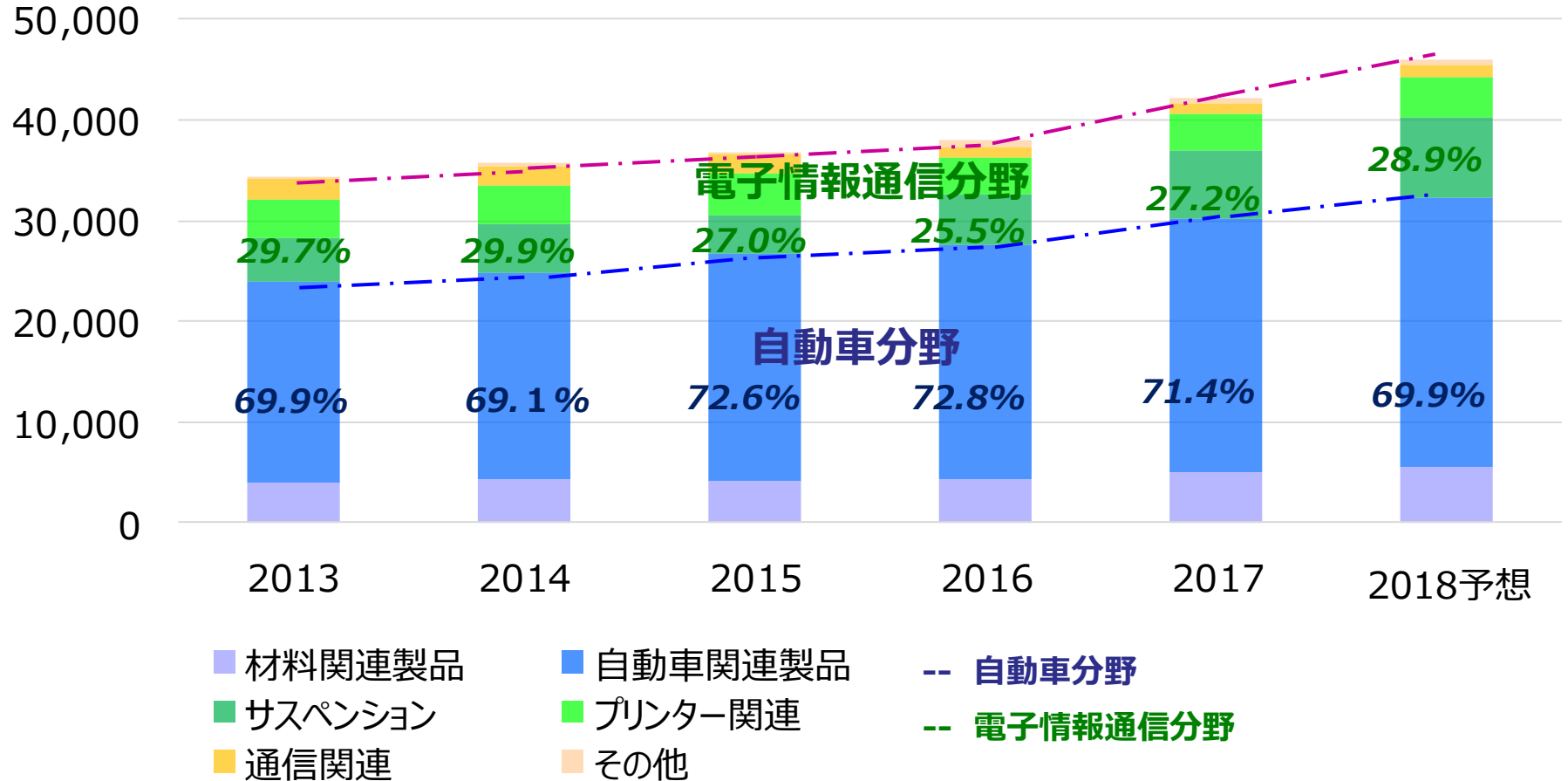


- ・ 売上 : 12年度から7期連続増収の見込み
- ・ 営業利益 : 投資先行による利益率低下から回復基調

## 2 業績推移 / 事業別

### 業績推移 / 事業別

単位：百万円



# サンコール株式会社 会社説明会

1. 会社概要
2. 業績推移
3. 平成31年3月期
  - － 第3四半期決算要約
  - － 業績予想
4. トピックス / 開発案件

# 3. 平成31年3月期 第3四半期決算要約 決算概要

(単位：百万円)	平成30年3月期 第3四半期	平成31年3月期 第3四半期		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	30,984	34,981	+3,997	+12.9%
営業利益	1,706	3,059	+1,353	+79.3%
経常利益	2,037	3,314	+1,277	+62.7%
当期純利益	1,769	2,177	+408	+23.0%

一株当たり利益	55.65円	68.30円	+12.65円	---
平均為替レート 円/USD	111.71円	111.15円	▲0.56円	---
円/EURO	128.53円	129.49円	+0.96円	---

- ・ 売上 : 自動車関連製品伸長、HDD用サスペンション需要拡大
- ・ 営業利益 : アジア拠点増益、HDD用サスペンション原価低減、メキシコ子会社増益
- ・ 経常利益 : 受取配当金、為替差益
- ・ 純利益 : 中国子会社 工場移転関連費用計上

### 3. 平成31年3月期 第3四半期決算要約

#### 営業外損益 / 特別損益

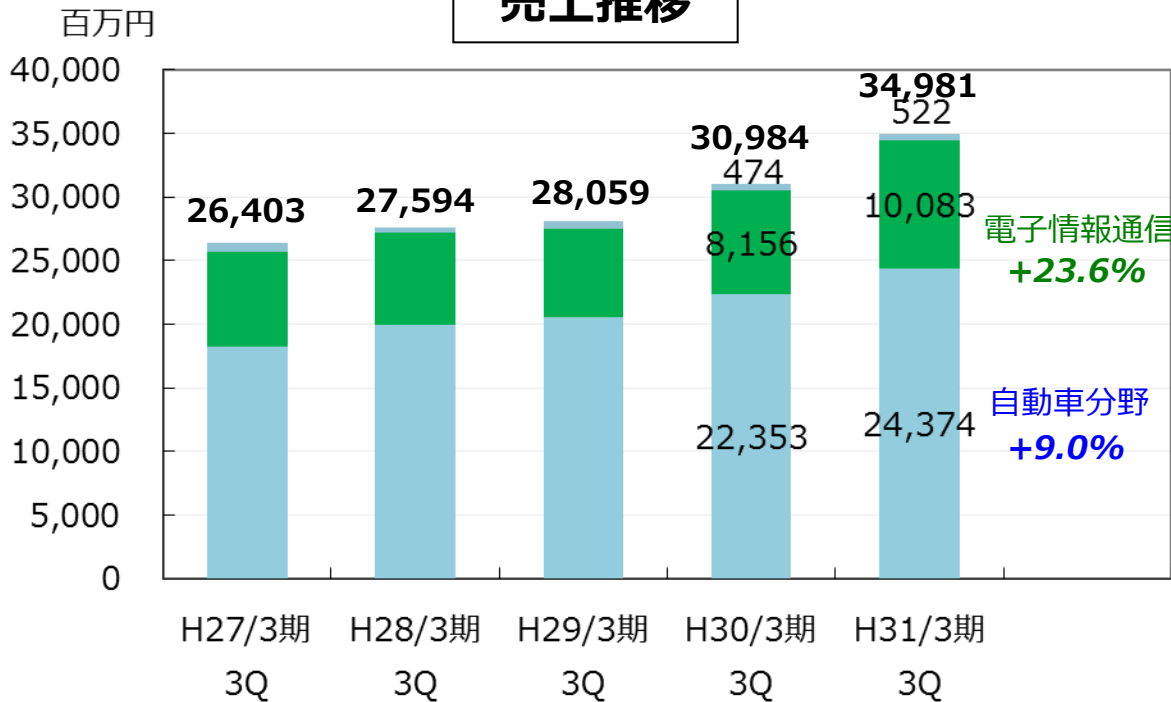
(単位：百万円)	平成30年3月期 第3四半期	平成31年3月期 第3四半期	
	実績	実績	前年同期比 増減額
受取配当金	1 2 4	1 4 1	+ 1 7
為替差益	1 9 0	8 3	▲ 1 0 7
その他	1 6 7	1 6 7	—
<b>営業外収益合計</b>	<b>4 8 2</b>	<b>3 9 3</b>	<b>▲ 8 9</b>
持分法投資損失	▲ 3 2	▲ 2 8	+ 4
為替差損	—	—	—
その他	▲ 1 1 8	▲ 1 0 8	+ 1 0
<b>営業外費用合計</b>	<b>▲ 1 5 2</b>	<b>▲ 1 3 8</b>	<b>+ 1 4</b>
<b>営業外損益合計</b>	<b>3 3 0</b>	<b>2 5 5</b>	<b>▲ 7 5</b>
<b>特別損益</b>	<b>4 1 3</b>	<b>▲ 2 7 3</b>	<b>▲ 6 8 6</b>

- ・ 為替差損益 : 為替レート変動 期中平均 前年111.71 /ドル→当期111.15/ドル
- ・ 特別損益 : 子会社移転関連費用 など

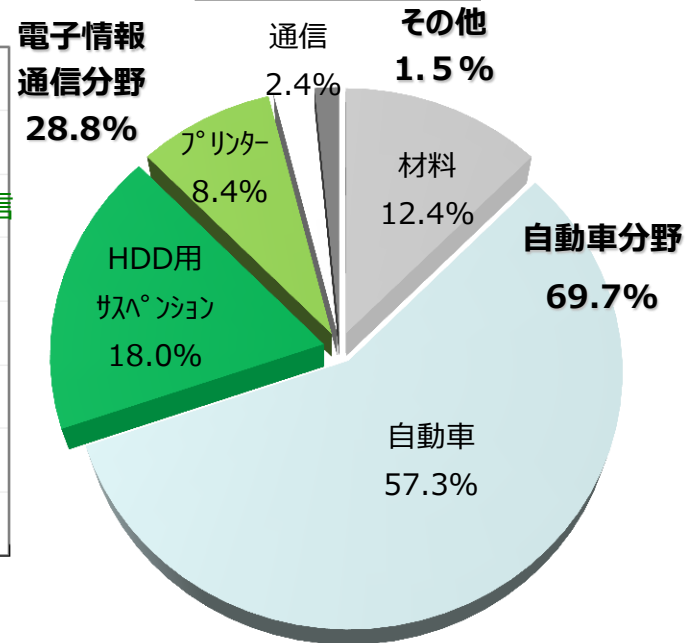
# 3. 平成31年3月期 第3四半期決算要約

## 事業別売上推移・比率

売上推移



売上比率



### — H31/3期第3四半期実績

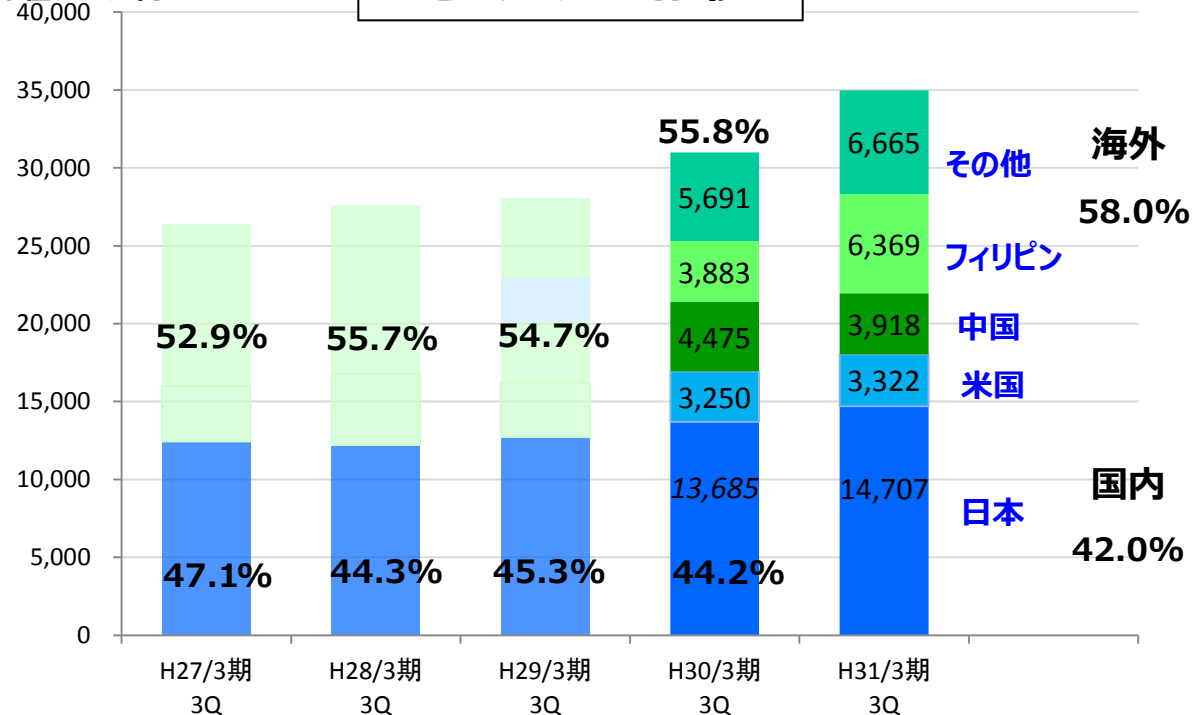
- 自動車分野 : アジア・北米向け弁ばね用鋼材販売増  
アジアでエンジン用・ミッション用部品の販売増、HV関連部品伸長
- 電子情報通信分野 : HDDサスペンション 顧客需要に対して能増投資効果により販売増  
プリンター 中国減、ベトナムで関連部品需要が回復基調維持  
通信関連 新設営業拠点で回復の兆し

# 3. 平成31年3月期 第3四半期決算要約

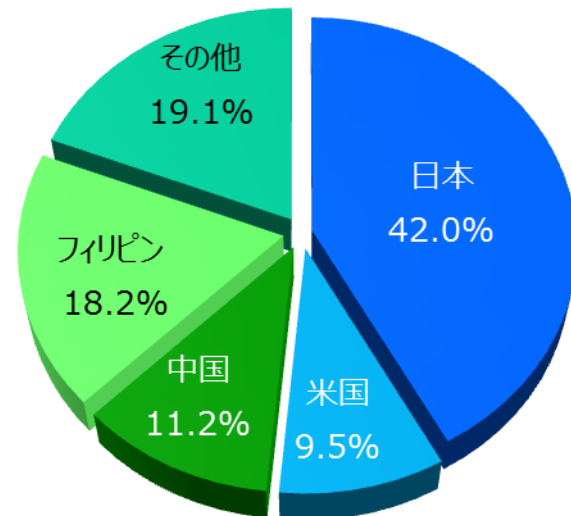
## 地域別売上推移・比率

単位：百万円

地域別売上推移



地域別売上比率



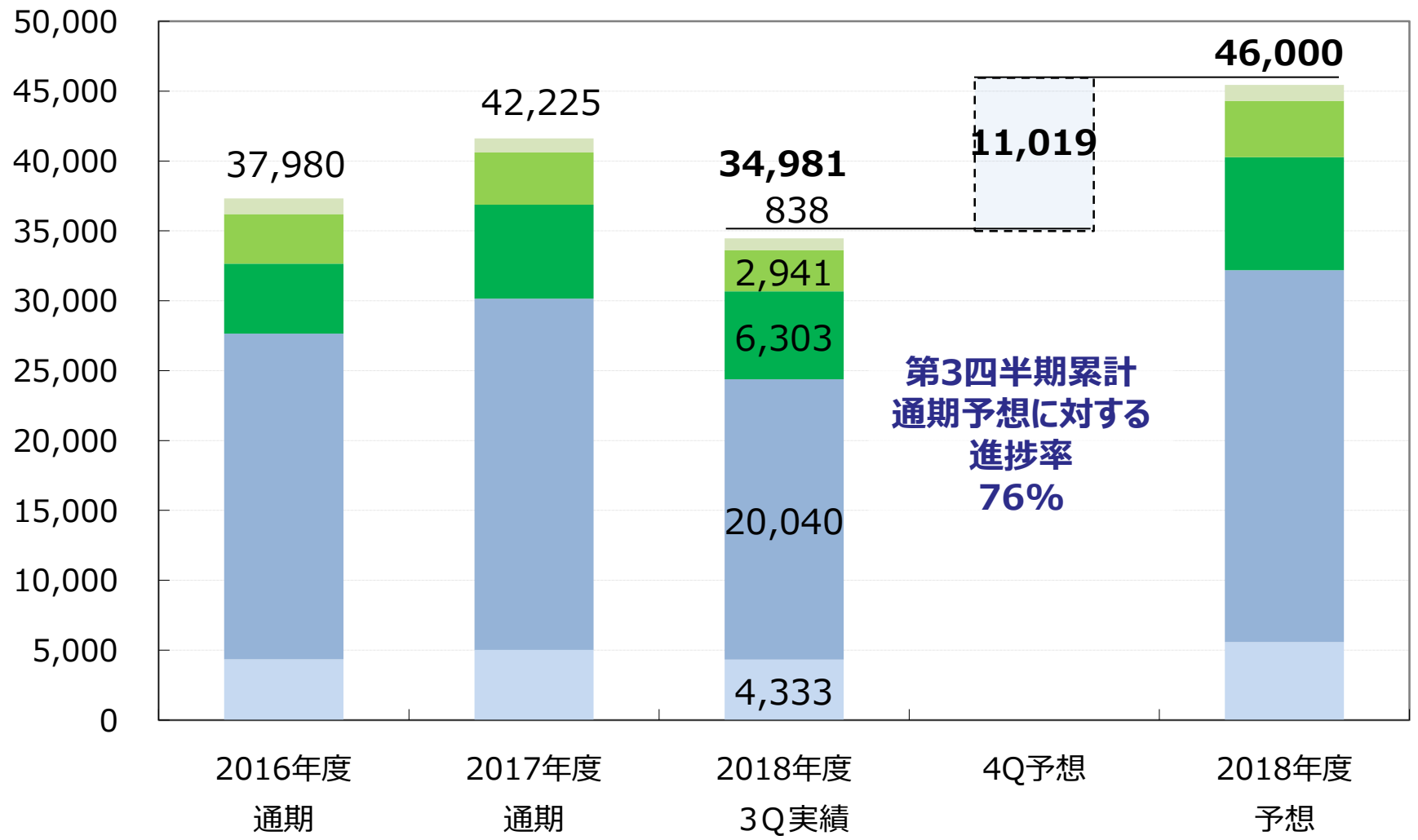
\* 売上高は顧客の所在地に基づく分類

### — H31/3期第3四半期

- 日本 : エンジン弁ばね、ミッション用ばね等、自動車関連製品の増加
- 北米 : 通信関連、エンジン用部品堅調
- 中国 : HDD用サスペンション納入拠点移管により減少
- フィリピン : HDD用サスペンションの販売増
- その他 : メキシコ 鋼材販売増、ベトナムプリンター関連増

# 3. 平成31年3月期 第3四半期決算要約/連結 連結売上高推移・進捗率

百万円 ■ 材料関連製品 ■ 自動車関連製品 ■ HDD用サスペンション ■ プリンター関連 ■ 通信関連





# 3. 平成31年3月期 第3四半期決算要約

## 連結財政状態

(単位：百万円)	平成30年3月末	平成30年12月末	増減
資産合計	49,257	51,208	1,951
現預金	10,667	12,738	2,071
売上債権	9,618	9,539	△79
棚卸資産	5,532	5,653	121
その他流動資産	507	622	115
固定資産	22,931	22,653	△278
負債合計	14,086	14,838	752
流動負債	10,241	11,103	862
固定負債	3,844	3,734	△110
(有利子負債)	2,617	2,695	78
純資産合計	35,171	36,370	1,199

# サンコール株式会社 会社説明会

1. 会社概要
2. 業績推移
3. 平成31年3月期
  - － 第3四半期決算要約
  - － 業績予想
4. トピックス / 開発案件

## 3. 平成31年3月期 業績予想

連結業績予想 - 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

(単位：百万円)	平成31年3月期 第3四半期		平成31年3月期
	実績	進捗率	業績予想 18年11月公示 据え置き
売上高	34,981	76.0%	46,000
営業利益	3,059	92.7%	3,300
経常利益	3,314	97.5%	3,400
当期純利益	2,177	99.0%	2,200

## 3. 平成31年3月期 業績予想

### 連結業績予想 – 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

第3四半期業績並びに足元の需要動向から、以下前提に基づき業績予想。

– 為替レート : ドル 第3四半期期中平均 111.15円  
下期想定レート 110.00円

– 需要予測

・自動車分野 : 国内 横ばい  
中国/ASEAN 一部部品で需要低下基調

・HDD用サスペンション : 市場動向不透明、調整局面を想定

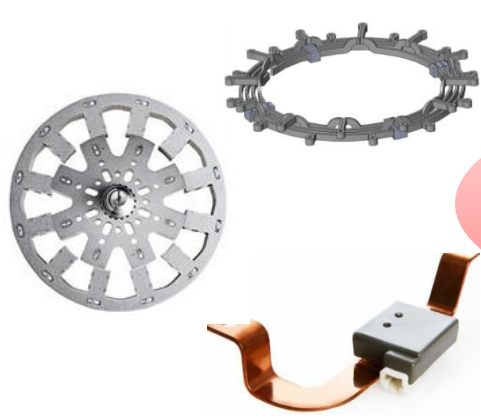
→ 経済情勢、需要動向が不透明な状況にあり、業績予測は据え置き

# サンコール株式会社 会社説明会

1. 会社概要
2. 業績推移
3. 平成31年3月期
  - － 第3四半期決算要約
  - － 業績予想
4. トピックス / 開発案件

# 4 トピックス / 開発案件

電気自動車  
ハイブリッド自動車



開発分野

環境・エネルギー

医療・介護機器



# 4 トピックス / 開発案件

## 自動車電動化部品

大電流バスバー/センサー : 自動車EV化による大電流用途に対応

【製品】

【展開活動】

▼'19年1月 EV・HEV駆動システム技術展出展  
東京ビッグサイト



バスバー

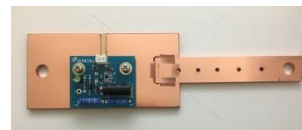


シャントオンバスバー

\* KOA株式会社との共同開発

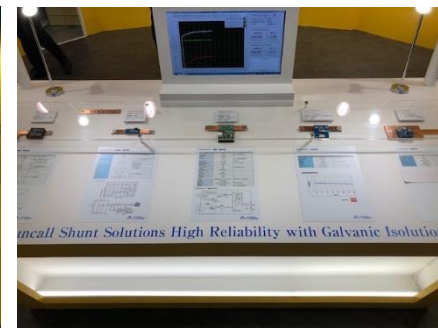


回路付きシャントセンサー



Fuseセンサー

車載・産業機器・エネルギー機器  
ユニット配線 電流検出



- ・来訪者 : 約450名
- ・出展アイテム : シャントセンサー、シャントオンバスバー、バスバー、テスト・プローブ、竹炭

◆'19年5月 Battery Show出展予定  
Stuttgart Germany

【開発・事業化進捗】 ▼実行済 ◆実行中 ●目標

▼バスバー量産化

◆回路付きシャントセンサー

▼シャントオンバスバー量産化  
- 特殊車両、産業機械 -

欧米Tier 1 向け試作品展開中

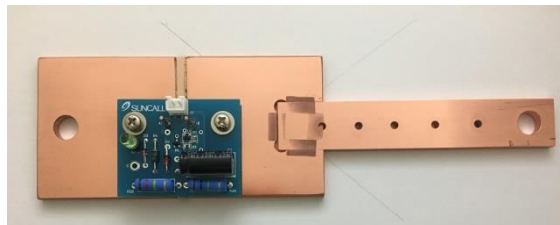
- 回路付きシャントセンサー量産化
- 欧州新規商権の具体化

# 4 トピックス / 開発案件

## 自動車電動化部品

**Fuseセンサー** : 大電流を検知、バスバーの切断による電流遮断により、  
 バッテリーの破損など二次災害を防止。

【製品】



Fuseセンサー

【性能】

- ・ シャント抵抗値 : 10 $\mu\Omega$
- ・ 検出電流値 : 2,000A
- ・ 作動時間 : 3m秒以下  
 (実力1.1m秒)  
 NITEにて実証

【展開活動】

- ▼ 試作品開発、高電流検出実証実験を実施。

NITE（独立行政法人/製品評価技術基盤機構）にて実験・評価  
 高電流実験設備（12000A迄出力可）による検出能力評価



【開発・事業化進捗】 ▼実行済 ◆実行中 ●目標

▼ 試作品開発

◆ 欧州OEM向けサンプル準備中

▼ 2,000A実証実験完了

● CAN通信・温度補正デジタル対応製品開発

● 量産・事業化



# 4 トピックス / 開発案件

## 環境・エネルギー事業 炭素材開発 竹炭

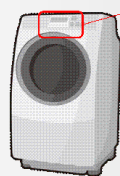
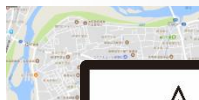
京都の会社が京都の竹を利用した京都ブランド



【開発・事業化進捗】 ▼実行済 ◆実行中 ●目標

### ▼塗料顔料量産化

—家電/カーナビ タッチパネル用顔料

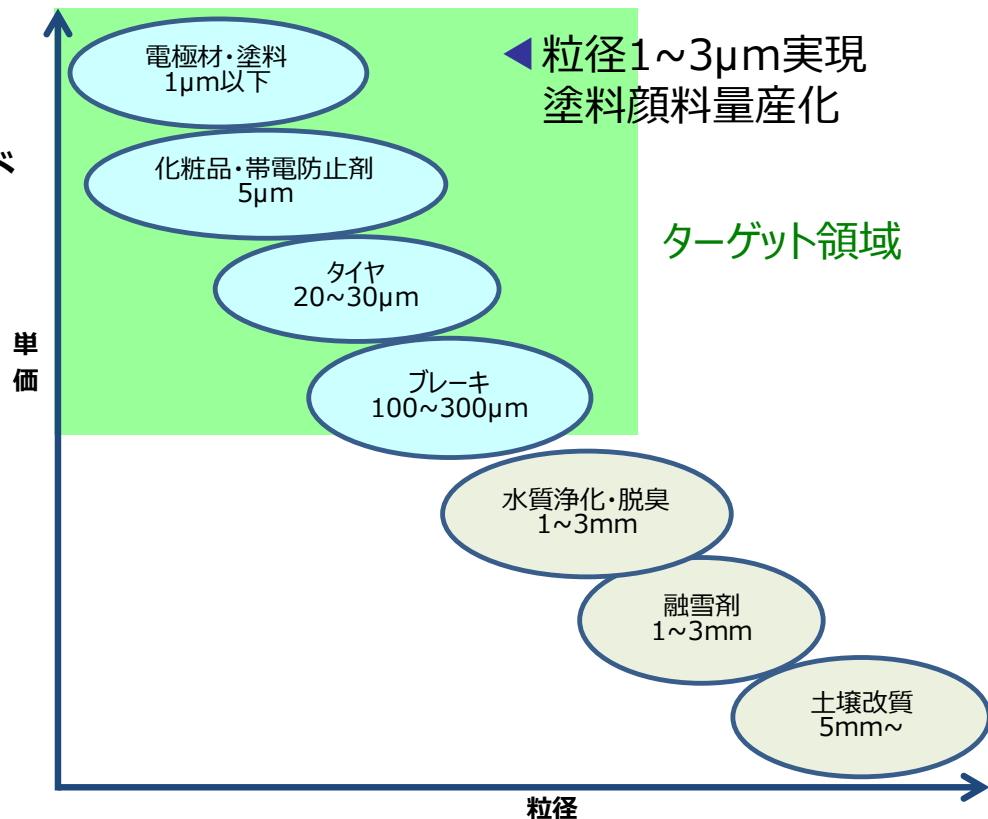


### ▼塗料顔料採用拡大

—高級車インパネ/情報機器



●電極材料用炭素など  
付加価値製品の開発



# 4 トピックス / 開発案件

## 福祉・介護機器の開発

### 歩行訓練支援ロボット

製品化準備中



医療機関、リハビリ施設、  
高齢者施設での歩行訓練

### 『オルソボット』



脳卒中後の  
歩行リハビリ補助

※当開発品は当社が参加する京都大学COI  
(Center Of Innovation)  
拠点グループ2で共同開発を行っています。

### 産業用運動支援装置



長時間作業など労働支援  
想定：農作業など

### 健康関連機器



EMS  
受託生産

【開発・事業化進捗】 ▼実行済 ◆実行中 ●目標

▼『装着型運動支援装置』開発

▼製造販売許可取得

▼『オルソボット』開発

◆ 18年度上市準備

◆ 倫理委員会申請中 ● 実証実験ステージへ

◆ EMS生産準備（受託生産）

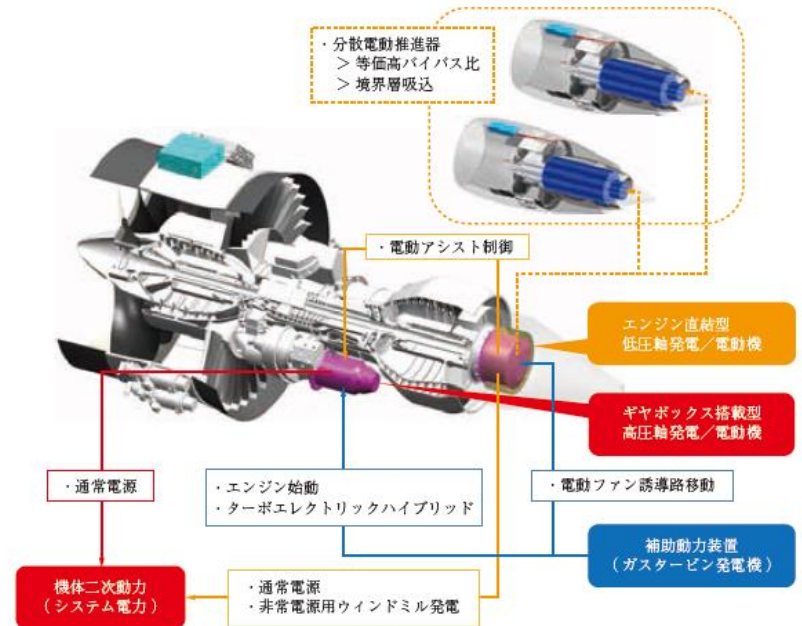
## 4 トピックス / 開発案件

### 応用開発

#### － 取組事例 －

- ① IHI様による航空機エンジン電動化プログラムへの参画
  - ・ 当社技術 : 電着塗装技術
  - ・ 評価特性 : 耐熱性 300℃ 1,000h以上実証
  
- ② 電装機器・構成部品の開発
  - ・ 当社技術 : 素子ボンディング技術
  - ・ 評価特性 : 放熱特性
  - ・ 展開状況 : 量産試作品開発中
  
- ③ 精密機器・構成部品の開発
  - ・ 当社技術 : 金属加工、微細プレス・切断技術
  - ・ 評価特性 : 金属特性解析技術
  - ・ 展開状況 : 量産準備中

#### 【電動化システム拡張例】

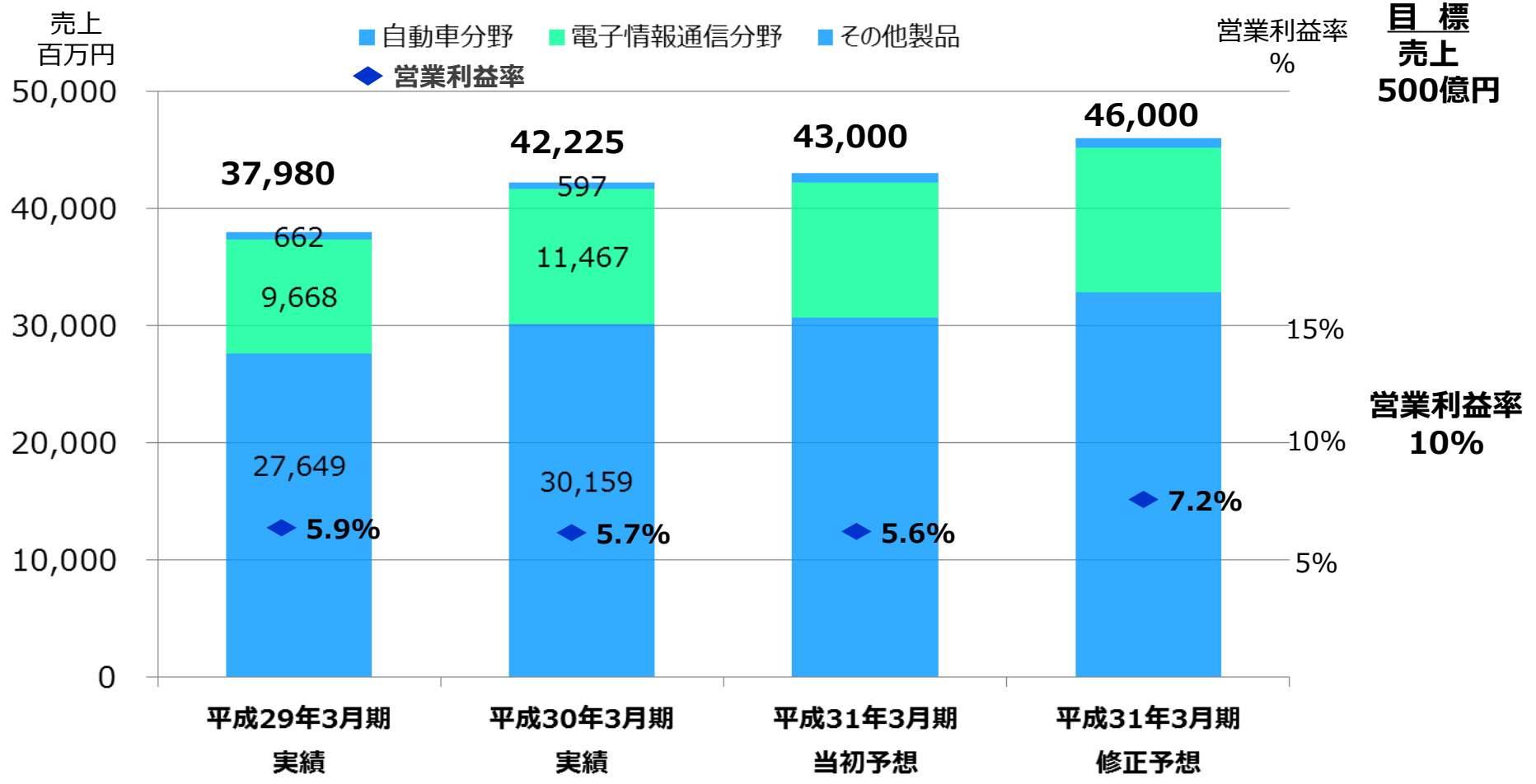


(株)IHI様技術報告書引用

『材料から製品までの一貫生産』によるノウハウ蓄積  
コア技術『精密塑性加工』をベースに事業拡張

# 中期経営方針 — 定量計画 —

— 定量イメージ（将来目標） : 連結売上500億円 / 営業利益率 10%



**Fine Precision, Nano Solution**

